

## E 課外活動

### 1 ウィンターセミナー

#### 1. 1 自然現象と災害（家庭分野）

##### (1) 研究開発の課題（研究概要）

近年、地震や台風、豪雨など大規模災害が頻繁に発生している。すべての自然現象が災害に変化するメカニズムを知り、安全に生活する工夫を普段の生活から対応策を考えさせたい。

##### (2) 研究開発の経緯

防災科学研究所で自然現象と災害について研究を行っている講師を招き、自然現象が発生するメカニズムを知ることにより、災害に変化していく要因を知る機会となる。

##### (3) 研究開発の内容

###### ア 仮説（ねらい、目標）

本事業は様々な自然現象について学び、災害に変化していく要因が人為的なものだと知る機会となる。また普段の生活においてどのような対策により、自然現象を安全に受け入れることができるかを考えるきっかけを与える。

###### イ 研究の内容・方法

該当教科 家庭科

対象生徒 1、2年生の希望者 30名

日時場所 12月23日（木）本校 桃陵館

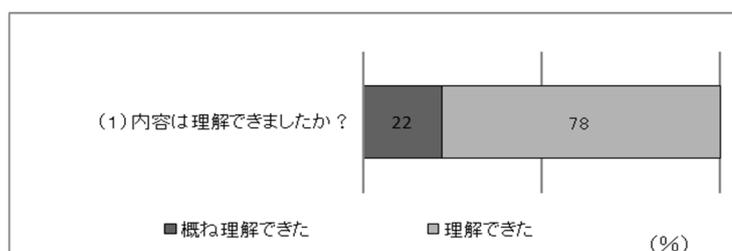
実施内容 講演および簡易実験

演題 「自然現象と災害について」

講師 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 納口 恭明 先生  
罇 優子 先生

内容 ・自然現象とは何か。  
地震、台風、雪崩の発生メカニズムについて  
・自然現象が災害となる要因  
自然現象が生活へもたらす影響について  
・災害時の過ごし方

###### ウ 検証（成果と反省）



講義の様子

###### 生徒の感想から

- ・色々な自然現象をミニチュアで理解することができて、すごく興味がわいたし、もっと知りたいと思った。災害が起きても、どうしてそうなるかがわかっていれば少し落ち着いて行動できる気がする。
- ・自然現象と共に生活していく中で、液状化現象などどのような力が働いているのかを知ることができた。災害を未然に防ぐ手段を考えることもできると思った。

今回の講義は、生徒のアンケート結果や感想からも大変有意義な内容であったと考察できる。また、すべての自然現象には物理的な要素が含まれていて、要因を分析することにより災害に結び付かないようにできることを知ることができたと思う。